



街の人と協力して作る参加型ロールプレイ市街劇  
—宇部中央銀天街を舞台に、いろんな人のいろんな日常を演じる—

この市街劇には筋書きがなく、人物の設定、場所の設定、テーマの設定のみがある。上演される12本のストーリーはみな、「宇部中央銀天街」をキーワードに、実際にこの街に暮らす方々が語ってくださったエピソード／記憶である。エピソードの持ち主や登場するかつてこの街にあったもの、暮らしていた人々を、今現在この街で暮らす市民の方が演じることで「再演」するように再現していく「ロールプレイ」は、時に来場した観客の方々をも劇の参加者として巻き込みながら進んでいく。

アートチーム葛谷春光堂は、今年7月から宇部中央銀天街に滞在し、ワークショップやヒアリングを通して様々な人の、時代の、「日常」の姿を捉える試みを行なった。

—ご協力いただいた宇部中央銀天街のみなさまに、心よりお礼申し上げます—

制作期間 2018年10月14日(日)～11月25日(日)  
制作拠点 宇部市中央町三丁目10番11号、宇部中央銀天街  
上演 2018年11月18日(日)14時30分～16時  
制作 葛谷春光堂／葛谷允宏、前田麻里、宮本和之  
協力 宇部中央銀天街のみなさま、株式会社住宅工房  
にぎわい宇部、若者クリエイティブコンテナYCCU、うべスタートアップ  
お問合せ UBEビエンナーレ事務局  
Tel/0836-51-7282 E-mail/ubebiennale@city.ube.yamaguchi.jp

第1幕／3分51秒

銀天街を通るちんどん屋(昭和40年頃)

第2幕／1分45秒

松竹映画新川座にナイトショーを観に行く(昭和20年頃)

第3幕／29秒

銀天街を測量し地図を作る(平成26年頃)

第4幕／5分13秒

ダイヤ毛糸店で片思いの相手に編み物をする(平成12年頃)

第5幕／9分27秒

美味しいお茶をお客さんに楽しんでもらう(平成30年)

第6幕／4分46秒

たこ平のたこなしたこやき(昭和58年頃)

第7幕／10分31秒

喫茶らいぶ、休憩中のマスターと店員(平成10年頃)

第8幕／3分54秒

Xmasイルミネーションの準備に励む未来会議(平成30年)

第9幕／4分6秒

大切な人への贈り物。

ファンシー雑貨サンジェムで選ぶ(平成元年頃)

第10幕／2分11秒

買い物客でごった返す鮮魚店、魚宗(昭和30年頃)

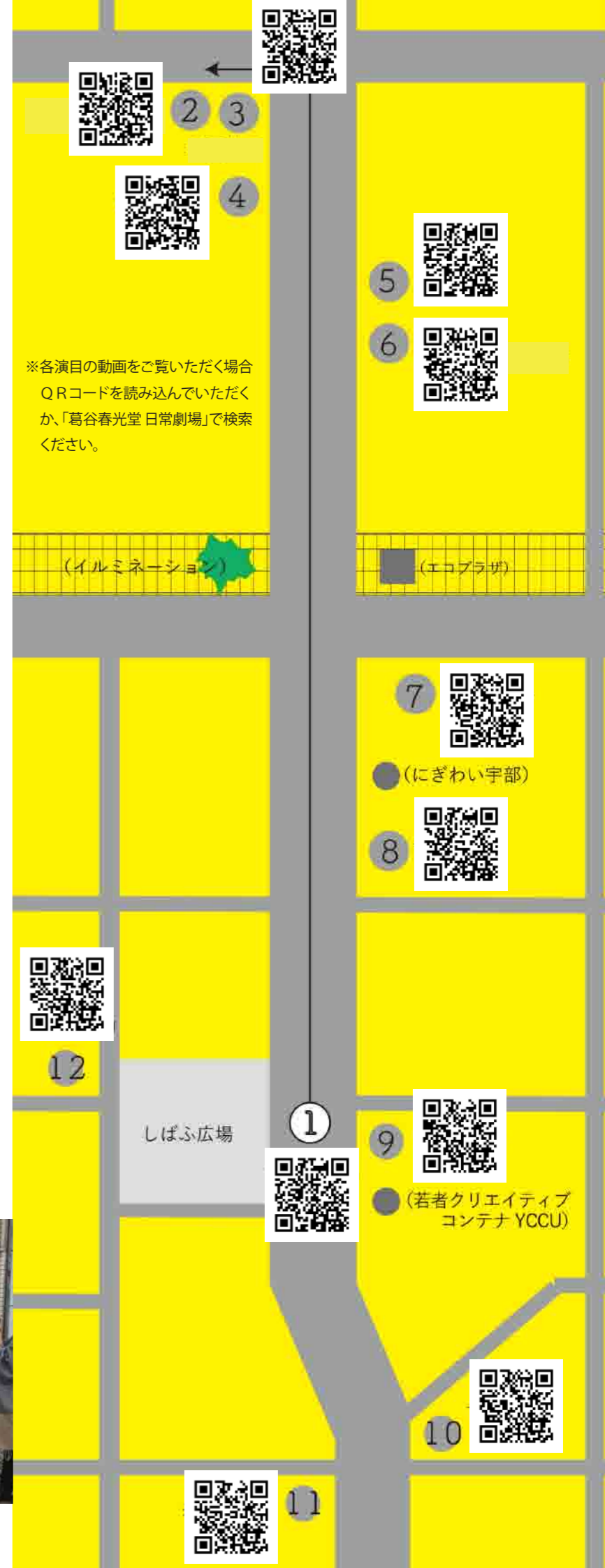
第11幕／15分46秒

共栄クラブの商店主達が集い、

銀天街について様々な話し合いをする朝(昭和30年頃)

第12幕／9分12秒

銀天街にアートスペース「コンブリ」がオープンする(平成32年)



※各演目の動画をご覧いただく場合  
QRコードを読み込んでいただく  
か、「葛谷春光堂 日常劇場」で検索  
ください。

(イルミネーション)

(エコプラザ)

(にぎわい宇部)

(若者クリエイティブ  
コンテナ YCCU)